

環境経営レポート

活動期間 R3(2021)年9月～R4(2022)年8月
[令和4年度]

作成：令和4年10月25日

改訂：令和5年12月10日

有限会社 東亜鍍金工場

1. 環 境 経 営 方 針

【 基 本 理 念 】

有限会社 東亜鍍金工場は、環境経営の重要性を厳粛に受け止め、環境負荷の削減に経営者及び従業員一同で取り組みます。

【 行 動 指 針 】

- 1) 省資源、省エネルギーの推進を図り、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- 2) 廃棄物の排出量の削減と適正処理に努めます。
- 3) 水の使用量の削減に努めます。
- 4) 薬品の適正な使用管理に努めます。
- 5) 関係する環境法令等を遵守します。
- 6) 環境経営の継続的改善に努め、課題とチャンスに取り組みます。
①多能工化の推進

令和2年6月16日

有限会社 東亜鍍金工場

代表取締役社長

川上 富士雄

2. 会社概要

☆ 事業内容

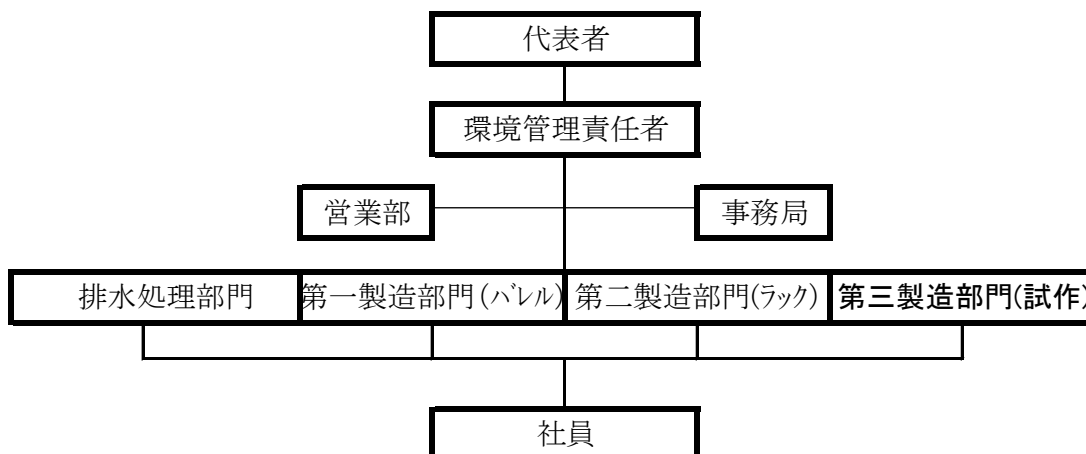
会社名 有限会社 東亜鍍金工場
所在地 〒312-0032 茨城県ひたちなか市津田東2丁目1番地7
創立年月 昭和35年3月
資本金 500万円
会社役員 代表取締役 川上 富士雄
環境管理責任者 川上 勝則
TEL 029(274)4311
FAX 029(274)4312
事業内容 電気めっき
認証・登録の活動範囲 当社すべての事業所及び事業内容を認証、登録の範囲とし除外するものではありません
関連事業所 なし

☆ 事業規模

(活動期間：R3(2021)年9月～R4(2022)年8月)

活動規模	単位	R4年度
主要生産量	t	3.77
売上高	百万円	96
従業員	人	14
床面積	m ²	1137.48

☆ 活動運用組織図



3. 環境経営目標とその実績

令和4(2022)年度
(R3年9月～R4年8月)

環境経営方針	環境経営目標					今年度実績 令和4(2022)年度 上段:実績値 下段:達成率
	内容	基準年度 平成30 (2018)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	
		実績	目標	目標	目標	
1)省資源、省エネルギーの推進を図り、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。	101 電気使用量の削減(kwh)	363,361	356,094	356,094	356,094	318,863
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減	112%
	102 灯油使用量の削減(L)	5,903	5,785	5,785	5,785	6,163
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減	94%
	103 ガソリン使用量の削減(L)	5,854	5,737	5,737	5,737	5,917
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減	97%
	104 軽油使用量の削減(L)	6,089	5,967	5,967	5,967	6,025
[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減	99%	
2)廃棄物の排出量の削減と適正処理に努めます。	201 産業廃棄物の削減(t)	21.4	21.0	21.0	21.0	17.0
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減	123%
3)水の使用量の削減に努めます。	301 地下水使用量の削減(m3)	20,343	19,936	19,936	19,936	19,607
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減	102%
4)薬品の適正な使用管理に努めます。	401 デイリーの薬品管理	100%	100%	100%	100%	100%

(注) 購入電力の排出係数は、0.455((kg-CO2/kwh)とした[東電エネルギー:平成30年度]。

(注) 105の二酸化炭素排出量は、A重油・LPGも含めた総二酸化炭素排出量とする。

4. 環境経営計画

令和4(2022)年度
(R3年9月～R4年8月)

環境経営方針	環境経営目標			環境経営計画	
	内 容	基準年度 平成30 (2018)年度	今年度 令和4 (2022)年度	今年度 令和4(2022)年度	次年度 令和5(2023)年度
		実績	目標		
1)省資源、省エネルギーの推進を図り、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。	101 電気使用量の削減(kwh)	363,361	356,094	101① 電気ヒーターの温度管理の徹底(自動温度調節器を導入済)	101① スマートメーターを設置して電力使用状況のチェック
	[基準年度からの削減率]		2%削減	101① 照明器具をLEDや省エネタイプの電灯に更新する	101① 照明器具をLEDや省エネタイプの電灯に更新する
	102 灯油使用量の削減(L)	5,903	5,785	101① 乾燥機の温度管理の徹底	101① 乾燥機の温度管理の徹底
	[基準年度からの削減率]		2%削減		
	103 ガソリン使用量の削減(L)	5,854	5,737	103① アイドリングストップ	103① アイドリングストップ
	[基準年度からの削減率]		2%削減		
2)廃棄物の排出量の削減と適正処理に努めます。	104 軽油使用量の削減(L)	6,089	5,967	104① アイドリングストップ	104① アイドリングストップ
	[基準年度からの削減率]		2%削減		
	105 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	240,932	236,113	[101①～104①による]	[101①～104①による]
[基準年度からの削減率]		2%削減			
3)水の使用量の削減に努めます。	201 産業廃棄物の削減(t)	21.4	21.0	201① 産業廃棄物の適正な処理	201① 産業廃棄物の適正な処理
	[基準年度からの削減率]		2%削減	201② コピー用紙等の再利用、再生紙の採用	201② コピー用紙等の再利用、再生紙の採用
4)薬品の適正な使用管理に努めます。	301 地下水使用量の削減(m3)	20,343	19,936	301① 地下水の元栓のON/OFFの時間のチェックシートでの管理	301① 地下水の元栓のON/OFFの時間のチェックシートでの管理
	[基準年度からの削減率]		2%削減	301② 品質に影響のない水量の適正化	301② 品質に影響のない水量の適正化
	401 薬品の物量管理	100%	100%	401① デイリーの薬品管理	401① デイリーの薬品管理

5. 環境活動計画の取組結果とその評価

令和4(2022)年度
(R3年9月～R4年8月)

環境経営方針	環境経営目標と実績				環境経営計画	評価
	基準年度実績値	環境経営目標	実績/達成率	増減率		
1) 省資源、省エネルギーの推進を図り、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。	363,361	356,094	318,863		101① 電気ヒーターの温度管理の徹底(自動温度調節器を導入済)	④
	電気(kwh)	1%削減	112%	△9%	101① 照明器具をLEDや省エネタイプの電灯に更新する	
	5,903	5,785	6,163		101① 乾燥機の温度管理の徹底	②
	灯油(L)	1%削減	94%	▲6%		
	5,854	5,737	5,917		103① アイドリングストップ	②
	ガソリン(L)	1%削減	97%	▲3%		
6,089	5,967	6,025		104① アイドリングストップ	②	
軽油(L)	1%削減	99%	▲1%			
240,932	236,113	196,997		[101①～104①による]	⑤	
総CO2(kg-CO2)	1%削減	120%	△20%			
2) 廃棄物の排出量の削減と適正処理に努めます。	21.4	21.0	17.0		201① 産業廃棄物の適正な処理	⑤
	産廃(t)	1%削減	123%	△23%	201② コピー用紙等の再利用、再生紙の採用	
3) 水の使用量の削減に努めます。	20,343	19,936	19,607.0		301① 地下水の元栓のON/OFFの時間のチェックシートでの管理	③
	水(m3)	1%削減	102%	△2%	301② 品質に影響のない水量の適正化	
4) 薬品の適正な使用管理に努めます。	100%	100%	100%	±0	401① デイルーの薬品管理	③

評価基準 ⑤目標を完璧に達成(120%以上) ④目標を十分に達成(119～105%) ③目標を達成(104～100%)

②まだ改善の余地がある(99～90%) ①目標を達成していないので、是正処置が必要(90%未満)

(注) ①増減率△増▲減

(注) ②CO2は、A重油・LPGも含めた総CO2とする。

6.環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
毒物及び劇物取締法	電気めっき
水質汚濁防止法	工場排水
廃棄物処理法	産業廃棄物(汚泥、廃プラ等、廃酸・廃アルカリ 等)
RoHS指令	製品(顧客からの要求事項)
浄化槽法	浄化槽(事務所用)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

7.代表者による全体の評価と見直し

- 1) 今期は灯油・ガソリン・軽油の3項目で目標は達成出来なかった。
- 2) CO2排出量はトータルでは削減出来た。しかし項目ごとでは、目標達成できない項目ができてしまったので、目標を達成できるように努力する
- 3) バーナーの温度管理や、不必要な水は使わないようにする

8. 環境経営目標(次年度)

令和5(2023)年度
(R4年9月～R5年8月)

環境経営方針	環境経営目標				
	内容	基準年度 令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度
		実績	目標	目標	目標
1) 省資源、省エネルギーの推進を図り、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。	101 電気使用量の削減(kwh)	318,863	312,486	312,486	312,486
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
	102 灯油使用量の削減(L)	6,163	6,040	6,040	6,040
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
	103 ガソリン使用量の削減(L)	5,917	5,799	5,799	5,799
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
2) 廃棄物の排出量の削減と適正処理に努めます。	104 軽油使用量の削減(L)	6,025	5,905	5,905	5,905
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
	105 総二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	171,807	168,371	168,371	168,371
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
3) 水の使用量の削減に努めます。	201 産業廃棄物の削減(t)	17.0	16.7	16.7	16.7
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
4) 薬品の適正な使用管理に努めます。	301 地下水使用量の削減(m3)	171,807	168,371	168,371	168,371
	[基準年度からの削減率]		2%削減	2%削減	2%削減
	401 デイリーの薬品管理	100%	100%	100%	100%

(注) 購入電力の排出係数は、0.376 ((kg-CO2/kwh)とした[東電エネルギー:2022年度]。

(注) 105の二酸化炭素排出量は、A重油・LPGも含めた総二酸化炭素排出量とする。